



# 大坪和子先生へ

初めて会った年長の時、先生は初めての環境が苦  
手な私に「入学式待つてるね」と優しく言った。不安な  
気持ちで学校に着くと正門で「よく来たね」と言い、  
入学式の時も横にいて、友達に名前を聞かれて困った時  
も「詩歌ちゃんっていうんだよ、仲良くしてね」と言ってくれた。  
三、四年で友達と遊びつらい時も、先生と勉強や遊べて楽  
しかった。

五年で学校に行けず苦しい時も、毎日家に会いに来  
てくれて私を信じてくれたこと、嬉し  
かったよ。三月コロナで学校行けない  
時、四月から転校できるよ、新しい  
学校は詩歌を守ってくれるよ、  
先生も四月からは新しい学校だから  
同じだね」と言ってくれて私を抱きしめ  
「詩歌なら大丈夫、人は幸せにな  
るために生きてる、泣いた分  
だけ強くなれて、その分たくさんの人へ優しくでき  
きるんだよ」と言ってくれて本当にうれしかった。  
今度は私が「六年間心の支えになってくれて  
ありがとう」と伝えに行くから。

「大好きだよ」

「大坪和子先生 ありがとう」

by しいかより